

# 県南ブロックの成果と課題

県南ブロック部長 川嶋 圭介

## 1 研究の概要

### (1) 研究テーマ

小中学校の学びの連続性を生かした音楽科学習指導の在り方

### (2) 県南ブロック音楽教育研究協議会

- ① 日 時 令和6年8月19日(月曜日)
- ② 場 所 土浦市立都和小学校
- ③ 内 容 演習講義
- ④ 講 師 上野学園大学短期大学部音楽科 学科長 内田 有一 教授

## 2 演習講義の内容

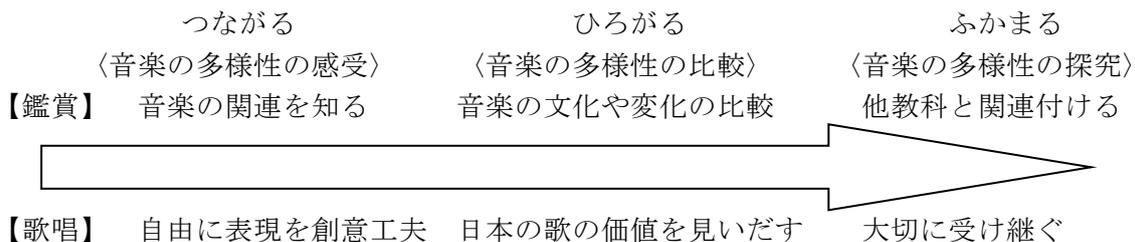
### (1) 鑑賞における小中一貫教育の学習の在り方

- ① 「日本の伝統音楽及びアジアの音楽の鑑賞の事例」から
- ② 「観賞の評価を小中一貫で整理する。」  
音楽科における概念的知識は、「曲想と音楽の構造との関わり」  
※音楽の価値を自分なりに判断し、言語化することにより小中の学習の系統性を図ることができる

### (2) 表現における小中一貫教育の学習の在り方

- ① 「GIGAスクール歌唱共通教材による『日本の歌』の学習」  
ピアノ伴奏がなくても授業ができる。  
美しい日本語の発音・発声が学習できる。  
日本の歌を継承する態度を育てる。
- ② 授業展開  
歌唱の創意工夫 ⇒ 旋律にのった歌詞をどのように語るかについて考えること  
※音楽の諸要素の働きを関連させ、表現したい思いや意図をもつ  
小学校1, 2年は感覚重視  
3, 4年生はメタ認知能力が発達(思いや意図をもって創意工夫を楽しむ)  
5, 6年生は論理的な思考力発達(諸要素との関わりと関わらせ創意工夫)  
中学校は、曲想と音楽の諸要素の働きとの関わりや歌詞の内容や背景との関わりなどから思いや意図を持って創意工夫

### (3) 演習講義の流れ





### 3 演習講義の成果

#### (1) 研修後のアンケート調査から

①今後の実践に役立つと感じたか	大変役立つ	93.1%
②小中の学びの連続性の効果が感じられたか	とてもそう思う	93.1%
③今回取り上げた題材を実践に活用できるか	とてもそう思う	86.2%

#### (2) アンケート調査記述

- ・ 歌詞の伝え方（名詞を丁寧に歌う）を実践に役立てたい
- ・ 既習事項や他教科と関連づけることがたくさんあることに気づいた
- ・ 紹介していただいた動画コンテンツを活用したい
- ・ 児童自身がどう表現していくか考えることができる授業づくりをめざしたい
- ・ 教科横断的な考え方をもつことが重要だと感じた
- ・ 鑑賞について、動画を活用して知識を得たり、社会科と関連させたりする授業をさっそく実践したい
- ・ 苦手に感じていた邦楽の鑑賞がやりやすく感じた
- ・ 1つ1つ順番に鑑賞させるのでは「陳列授業」になってしまう。関連させることが大切
- ・ 答えを導き出せるような発問が大切だと感じた
- ・ 鑑賞、表現ともに分かりやすい教材提示がありどのように取り組めばよいか明確だった
- ・ 教科横断的な視点からどのようにアプローチすればよいか分かった
- ・ もっと知りたいと感じた

など

#### (3) その他

- ・ G I G A スクール範唱動画は大変有効だと感じた
- ・ 模擬授業＋参加型の研修は初めてだったが「生徒の心をつかむ手立て」を多く学ぶことができた
- ・ 小学校低学年での有効なタブレット活用が分かった